

## 7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

- 
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
  - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
  - (3) 居住地域の治安状況
  - (4) 居住地域の治安が良いと感じる点
  - (5) 居住地域の治安が悪いと感じる点
  - (6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
-



## 7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

### (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

問28 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

■ 【知っている】が4割超、「知らない（初めて聞いた）」が5割台半ば

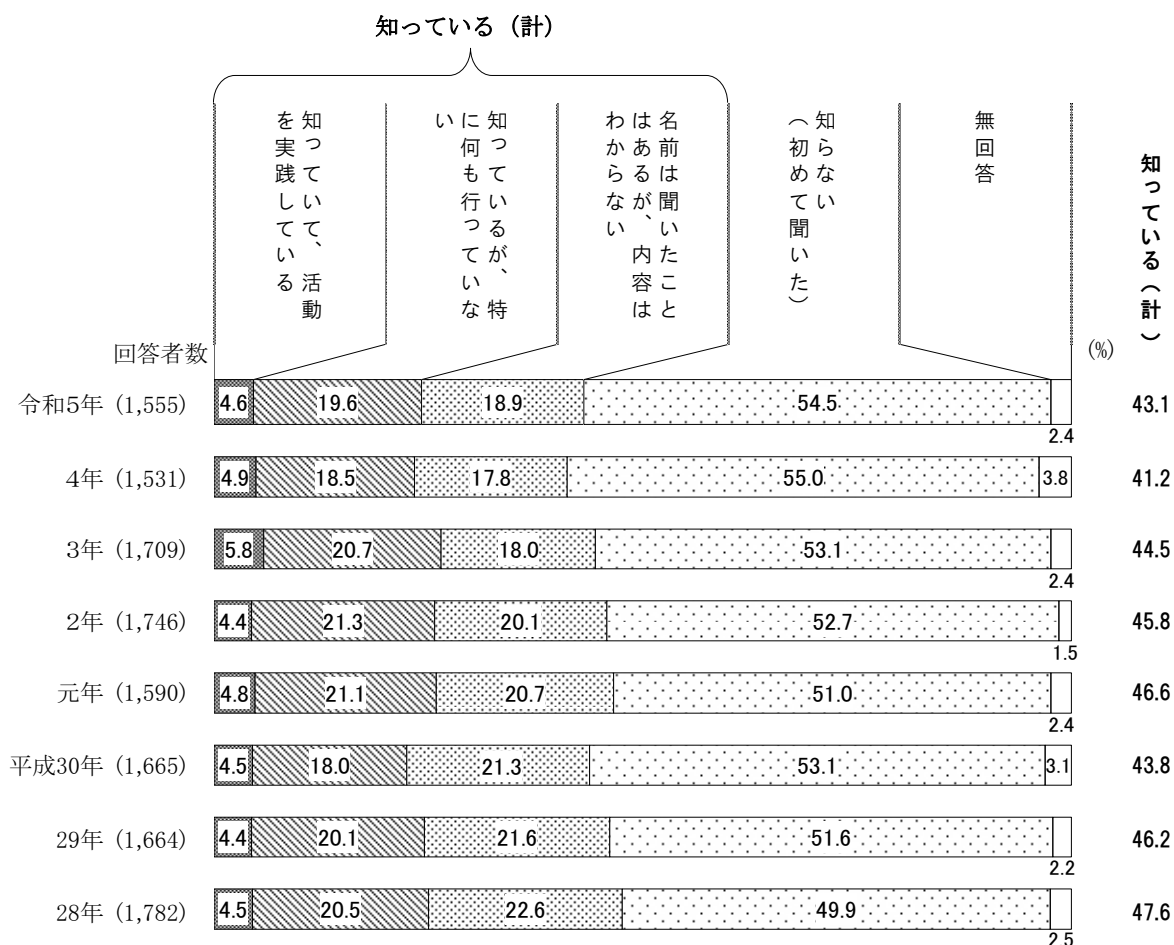
#### ア 単純集計・経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っている、活動を実践している」は4.6%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」（19.6%）と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（18.9%）を合わせた【知っている】は43.1%となっている。

(イ) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知らない（初めて聞いた）」は5割台半ばとなっている。

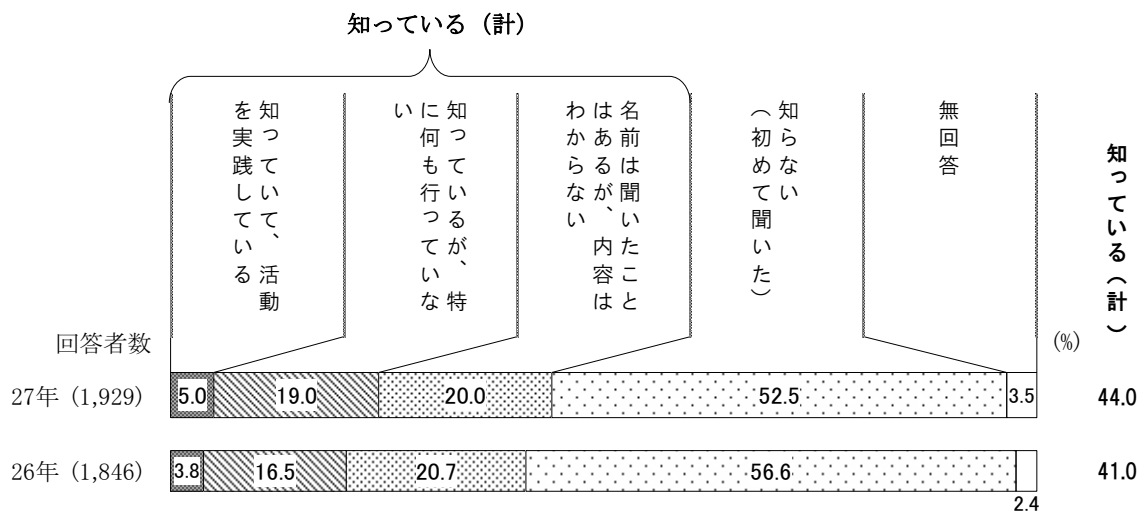
(ウ) 前回調査と比較すると、【知っている】は特に大きな違いはみられない。

図7-1-1-① 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

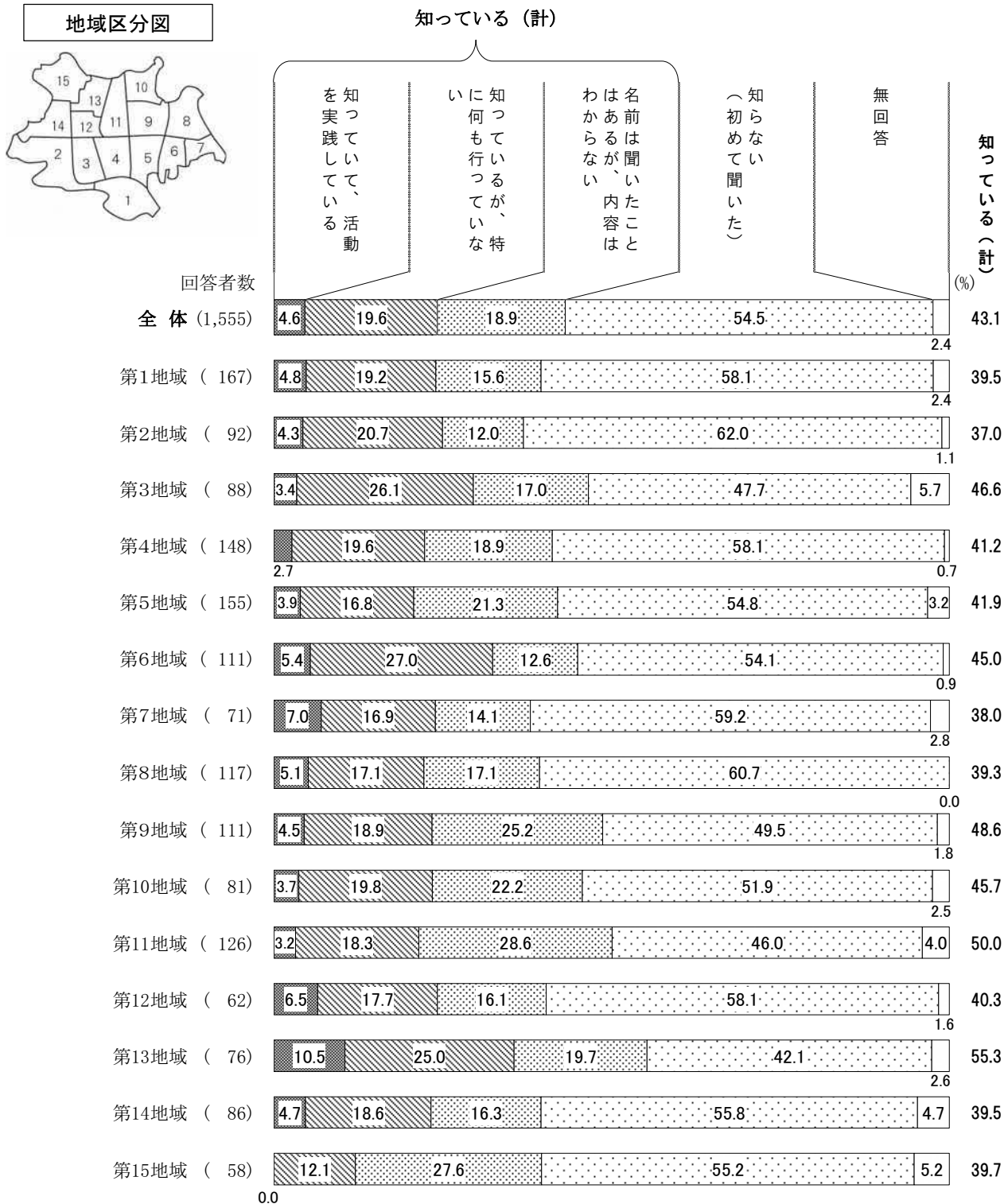
図7-1-1-② 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



イ クロス集計・地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

地域別でみると、【知っている】は、第13地域で55.3%と最も高く、次いで、第11地域（50.0%）、第9地域（48.6%）などとなっている。一方、第2地域で37.0%と最も低くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

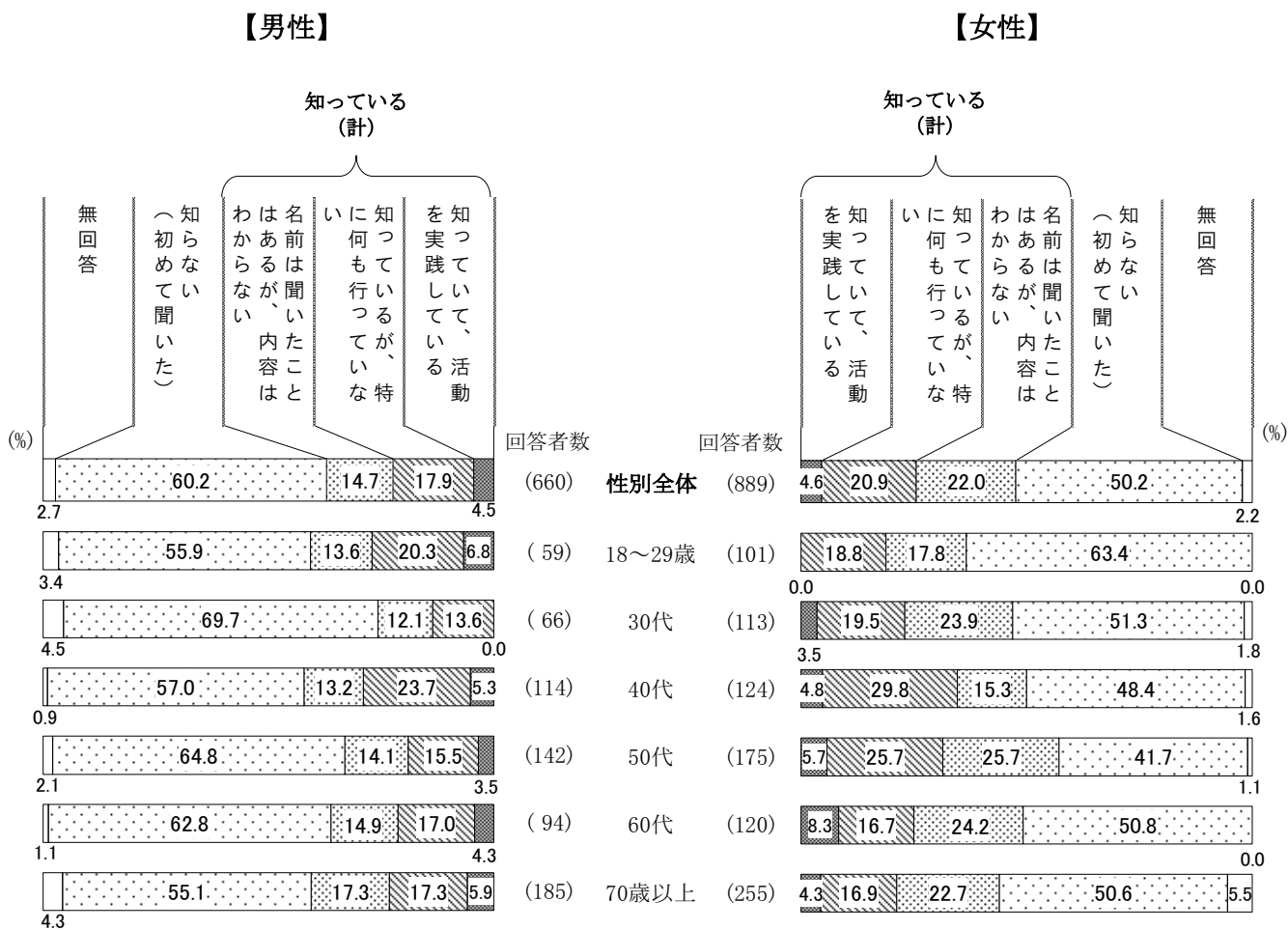


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 性別で見ると、【知っている】は女性（47.6%）の方が男性（37.1%）より10.5ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は女性の50代で57.1%と最も高く、次いで、女性の40代が50.0%で続いている。逆に、男性の30代が25.8%で最も低くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

問29 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

■「参加していない(今後も参加しない)」が6割超、取り組みは今回調査で新設の「ながら見守り活動」が12.0%で最多

ア 単純集計・経年比較

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聴いたところ、上位は以下のとおりとなった。

- ① 「ながら見守り活動」(12.0%) ※新設
- ② 「まちの清掃活動」(10.5%)
- ③ 「花の育成活動」(9.8%)
- ④ 「不法投棄通報」(7.9%) ※新設

(イ) 取り組みに「参加していない(今後も参加しない)」は61.3%となっている。

(ウ) 前回調査と比較すると、今回調査で新設の「ながら見守り活動」が1位となり、前回調査で1位の「まちの清掃活動」と入れ替わった。また、今回調査で新設の「不法投棄通報」が4位と上位に入っている。

図7-2-1-① 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

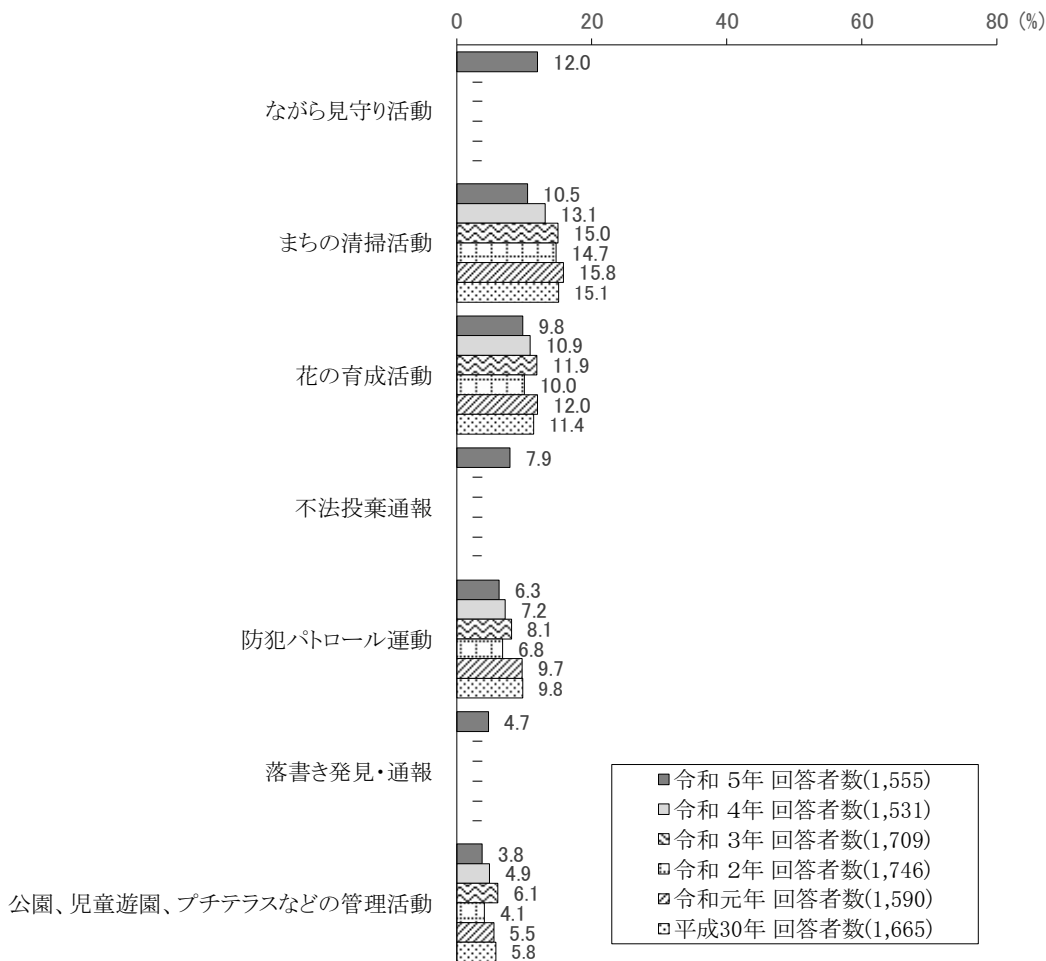
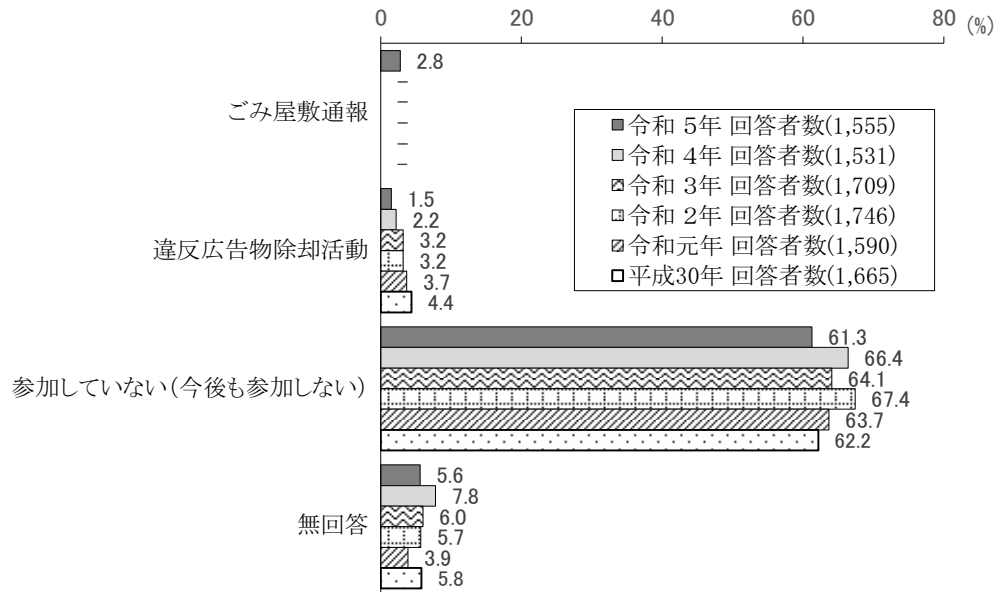


図7-2-1-② 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



※「ながら見守り活動」・「ごみ屋敷通報」・「不法投棄通報」・「落書き発見・通報」は、令和5年度調査からの新設項目。



イ クロス集計・地域別

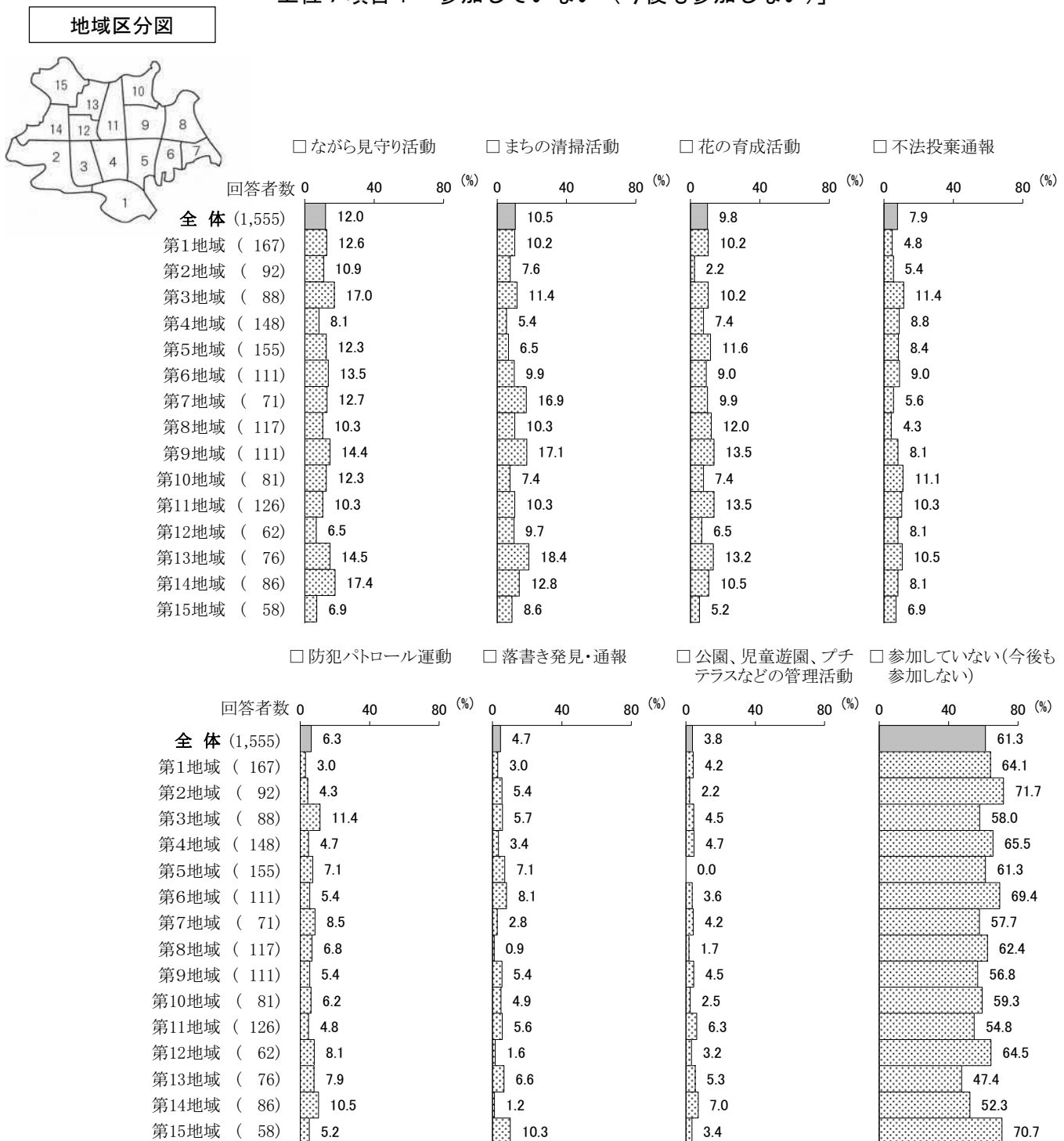
／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 地域別でみると、「ながら見守り活動」は第14地域で17.4%と最も高く、「まちの清掃活動」は第13地域（18.4%）、「花の育成活動」は第9地域と第11地域（各13.5%）で最も高くなっている。

(イ) 「参加していない（今後も参加しない）」は、第2地域で71.7%と最も高く、逆に、第13地域で47.4%と最も低くなっている。

図7-2-2 地域別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み／  
上位7項目＋「参加していない（今後も参加しない）」



ウ クロス集計・性別、性・年代別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

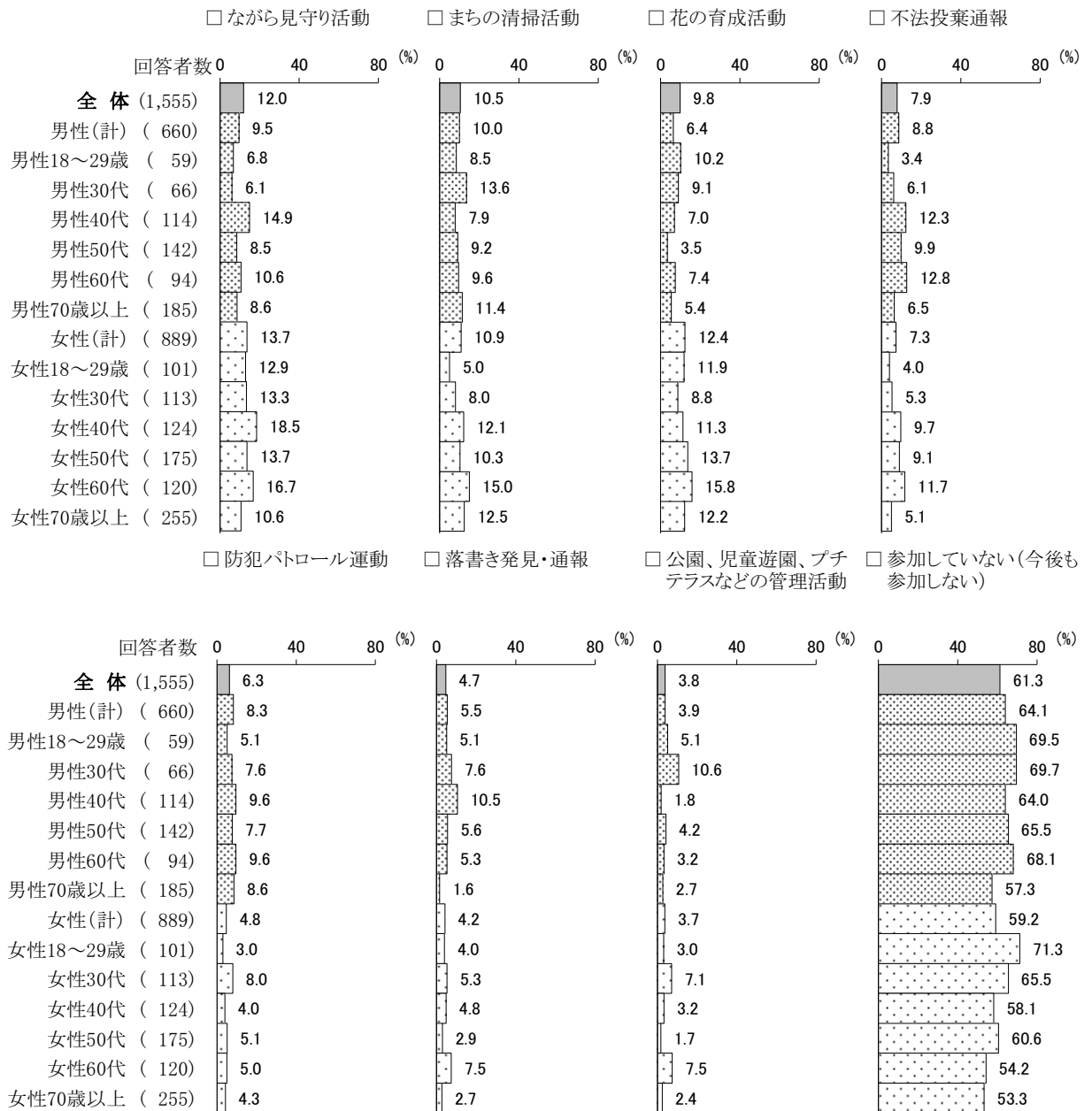
(ア) 性別で見ると、「花の育成活動」(女性：12.4%・男性：6.4%)と「ながら見守り活動」(女性：13.7%・男性：9.5%)は女性の方が男性より4ポイント以上高く、逆に「防犯パトロール運動」は男性(8.3%)の方が女性(4.8%)より3.5ポイント高くなっている。

(イ) 「参加していない(今後も参加しない)」を性別で見ると、男性(64.1%)の方が女性(59.2%)より4.9ポイント高くなっている。

(ウ) 性・年代別で見ると、「ながら見守り活動」は女性の40代で18.5%と最も高く、「まちの清掃活動」と「花の育成活動」はともに女性の60代(15.0%・15.8%)で最も高くなっている。一方、「参加していない(今後も参加しない)」は、男女ともにおおむね年代が下がるほど割合が高くなり、女性の18～29歳(71.3%)で7割台と最も高くなっている。

図7-2-3 性別、性・年代別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み／  
上位7項目＋「参加していない(今後も参加しない)」

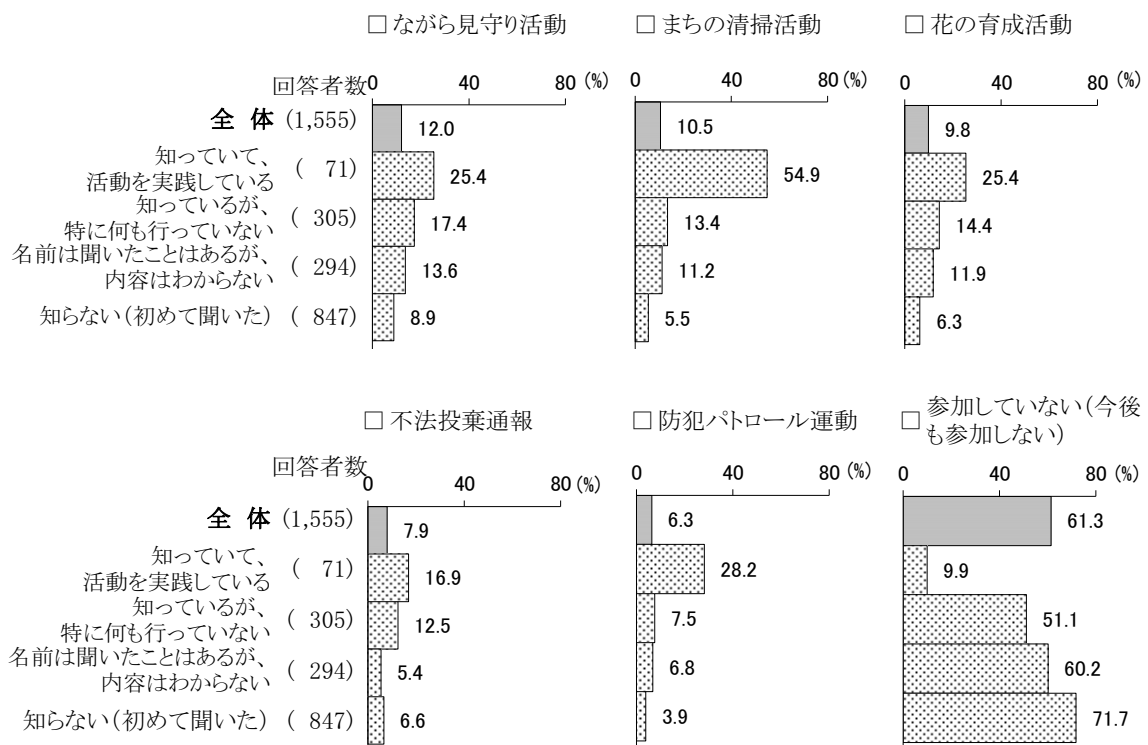


エ クロス集計・「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、認知・実践レベルが高くなるほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向が高くなっており、その傾向は〈知っていて、活動を実践している〉層でとくに顕著で、「まちの清掃活動」(54.9%)で44.4ポイント、「防犯パトロール運動」(28.2%)で21.9ポイント、「花の育成活動」(25.4%)で15.6ポイント、それぞれ全体に比べて高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／  
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み／  
上位5項目+「参加していない(今後も参加しない)」



(3) 居住地域の治安状況

問30 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか  
 （○は1つだけ）。  
 ※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

■ 【良い】は前回から5ポイント減少し約6割、【悪い】は再び2割台半ばに増加

ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安状況

- (ア) 住んでいる地域の治安について、「良い」が9.1%で、これに「どちらかといえば良い」(50.4%)を合わせた【良い】は59.5%となっている。
- (イ) 住んでいる地域の治安について、「どちらかといえば悪い」(22.6%)と「悪い」(4.2%)を合わせた【悪い】は26.8%となっている。
- (ウ) 前回調査と比較すると、【良い】は5.0ポイント減少し、再び5割台となった。一方、【悪い】は7.0ポイント増加し2割台半ばとなった。

図7-3-1-① 経年比較／居住地域の治安状況

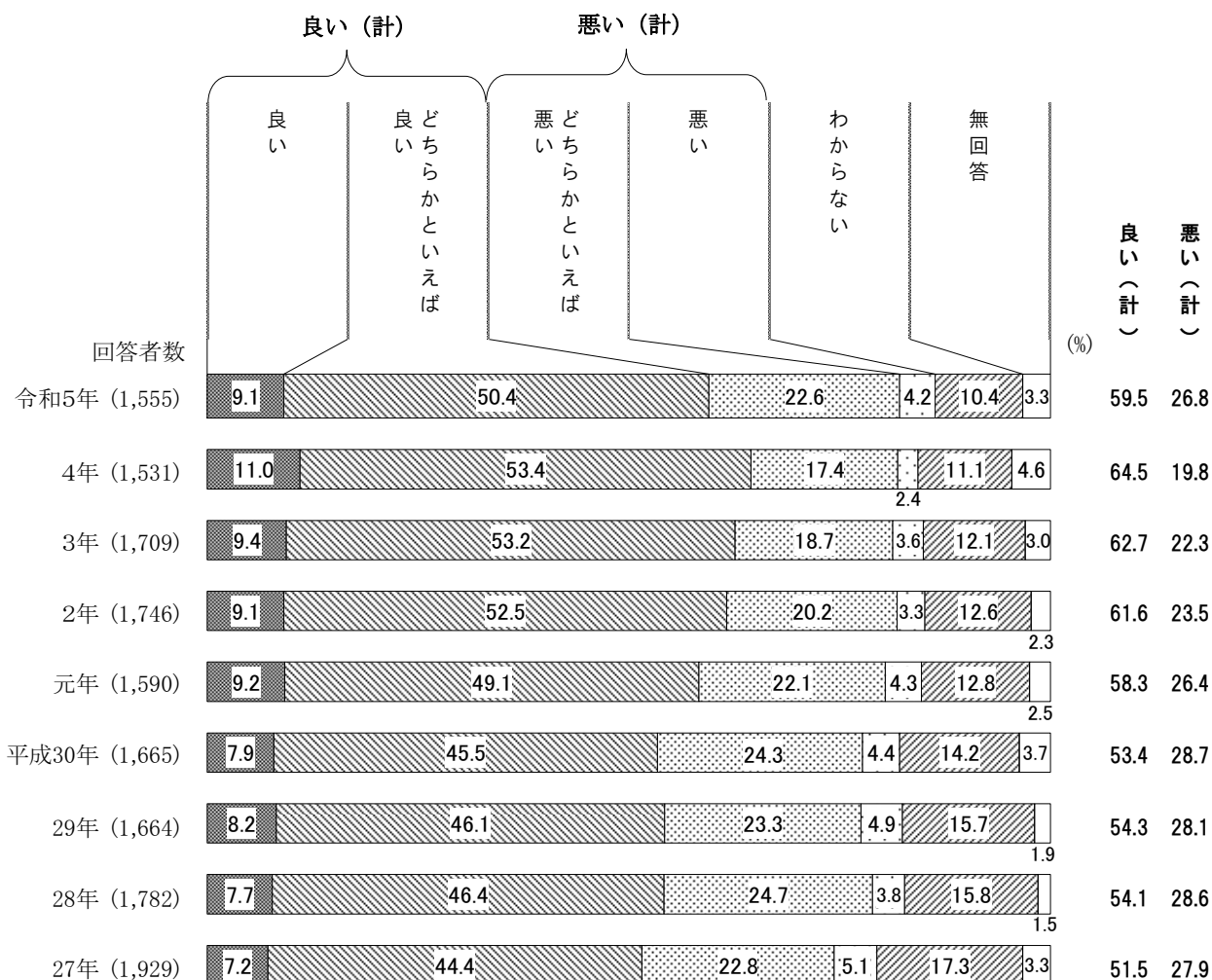
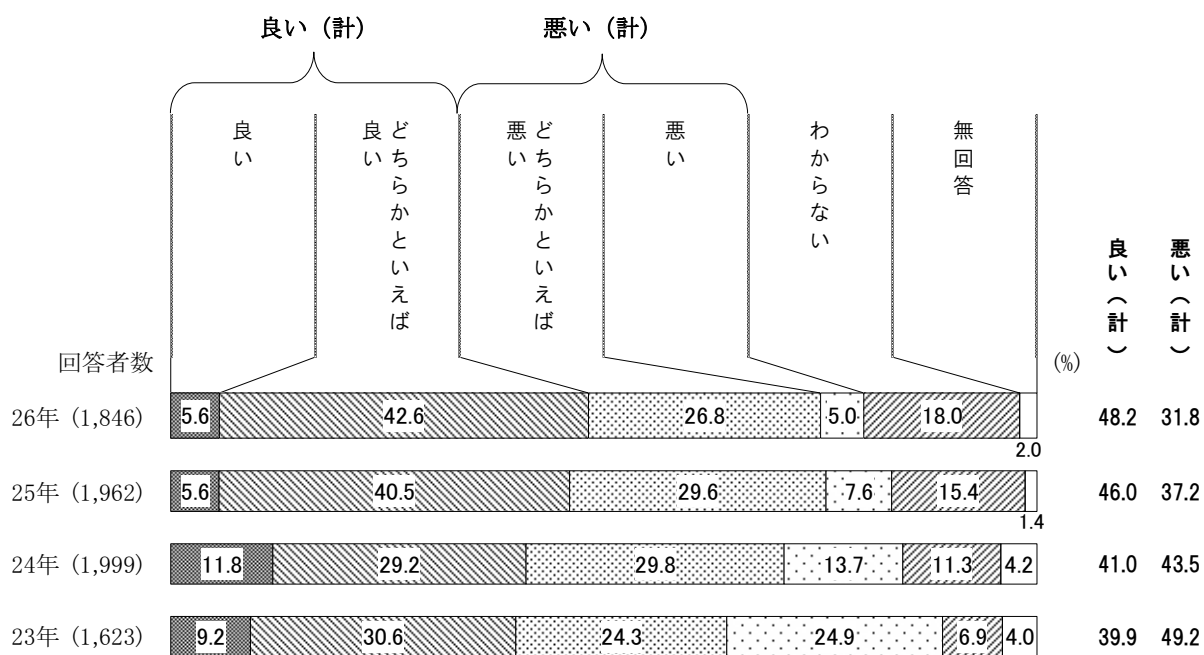


図7-3-1-② 経年比較／居住地域の治安状況



イ クロス集計・地域別／居住地域の治安状況

地域別で見ると、【良い】は第7地域で71.8%と最も高く、次いで第1地域（71.3%）が続いている。一方、【悪い】は第11地域で38.9%と最も高く、次いで第14地域（38.4%）となっている。

図7-3-2 地域別／居住地域の治安状況

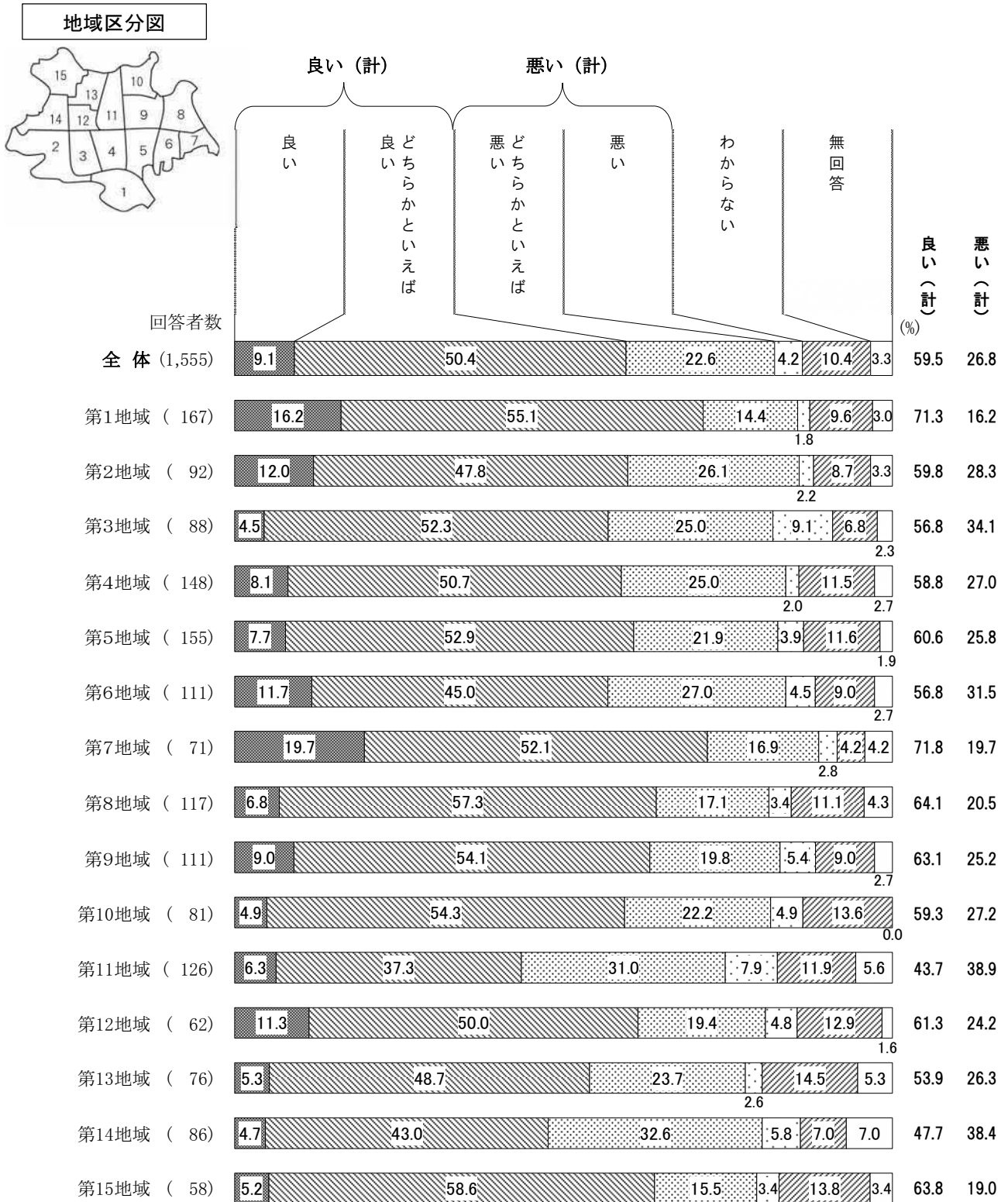
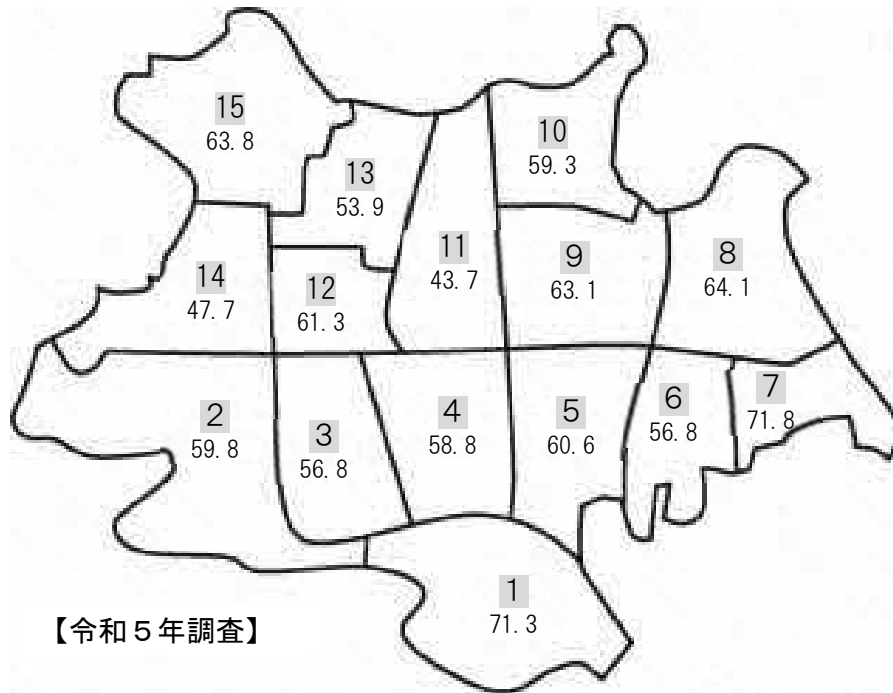
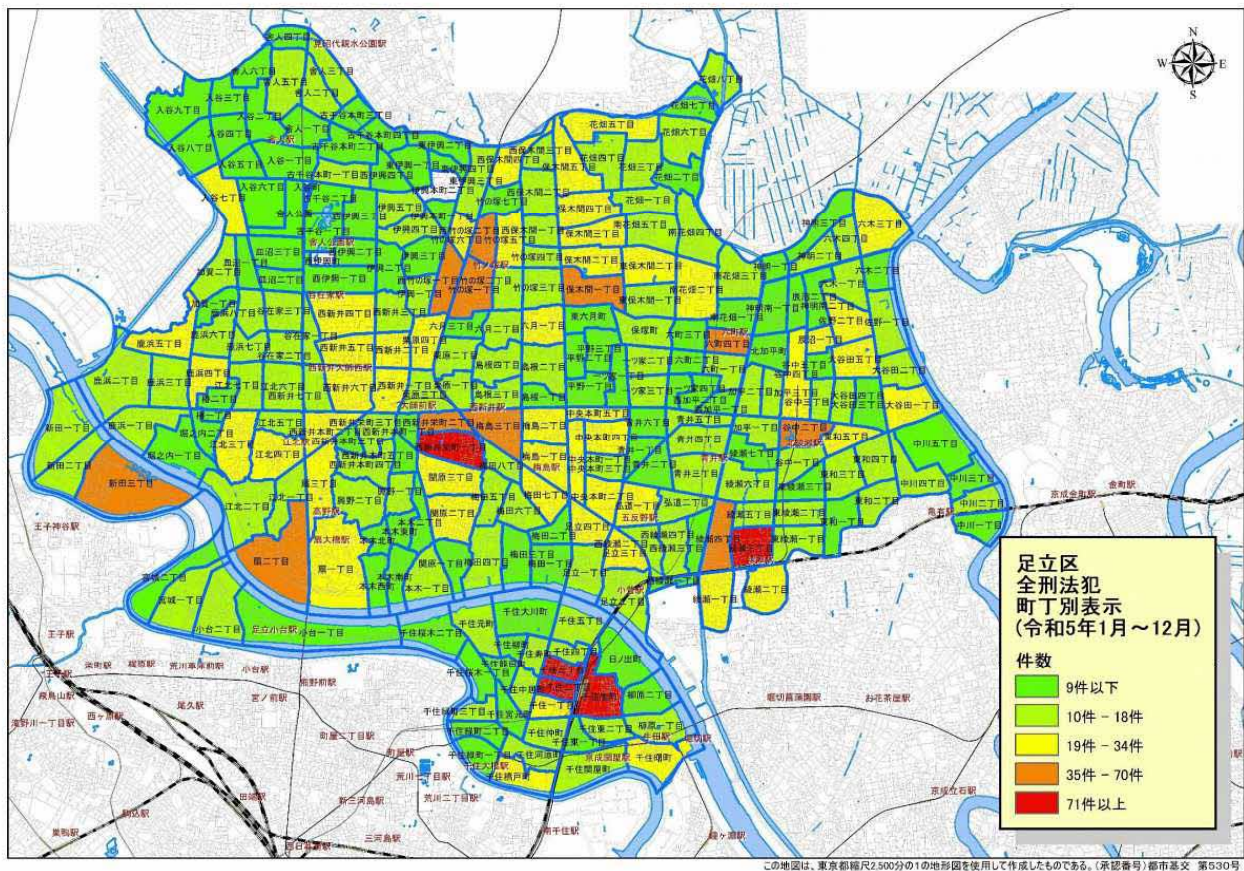


図7-3-3 地域区分図／居住地域の治安状況  
 (上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



【参考資料】区内全刑法犯認知件数（令和5年1月～12月）

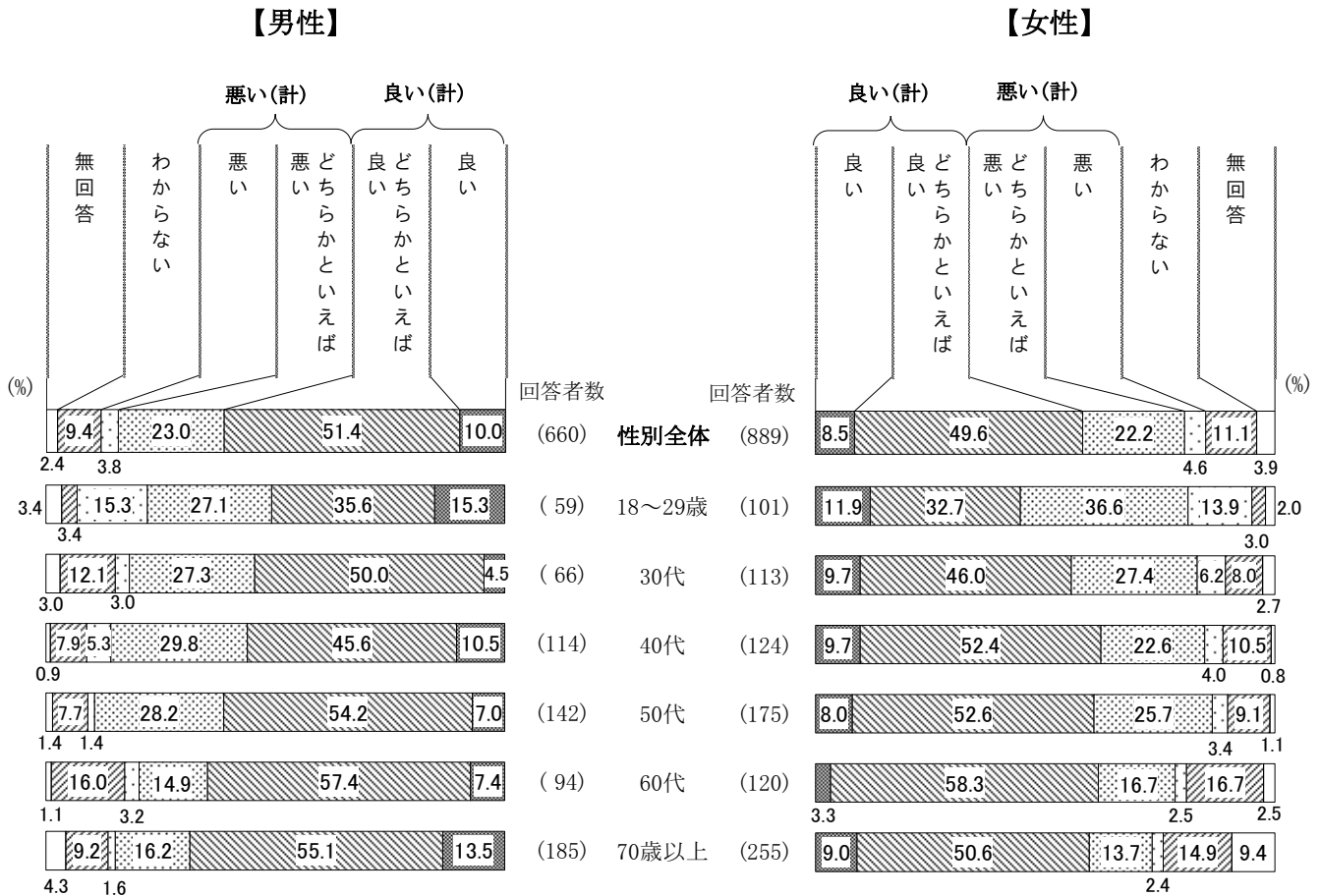


ウ クロス集計・性別、性・年代別／居住地の治安状況

(ア) 性別でみると、【良い】は男性（61.4%）の方が女性（58.2%）より3.2ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【良い】は、男性の70歳以上で68.6%と最も高く、女性の18～29歳で44.6%と最も低くなっている。男性は年齢が上がるほど割合も高くなっているが、女性では40代で最も高くなり、それ以上の年代は同様の割合となっている。

図7-3-4 性別、性・年代別／居住地の治安状況





(4) 居住地域の治安が良いと感じる点

問30で「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とお答えの方に  
問30-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。

■「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が5割超

ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安が良いと感じる点

(ア) 居住地域の治安を【良い】と評価した人の理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ①「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」(51.9%)
- ②「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(34.9%)
- ③「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」(19.8%)
- ④「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」(19.6%)

(イ) 前回調査と比較すると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は5.3ポイント増加したが、逆に、「犯罪の発生件数が減っているということを知ったから」が10.5ポイント減少、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」が5.0ポイント減少、「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」が3.7ポイント減少となっている。

図7-4-1-① 経年比較／居住地域の治安が良いと感じる点

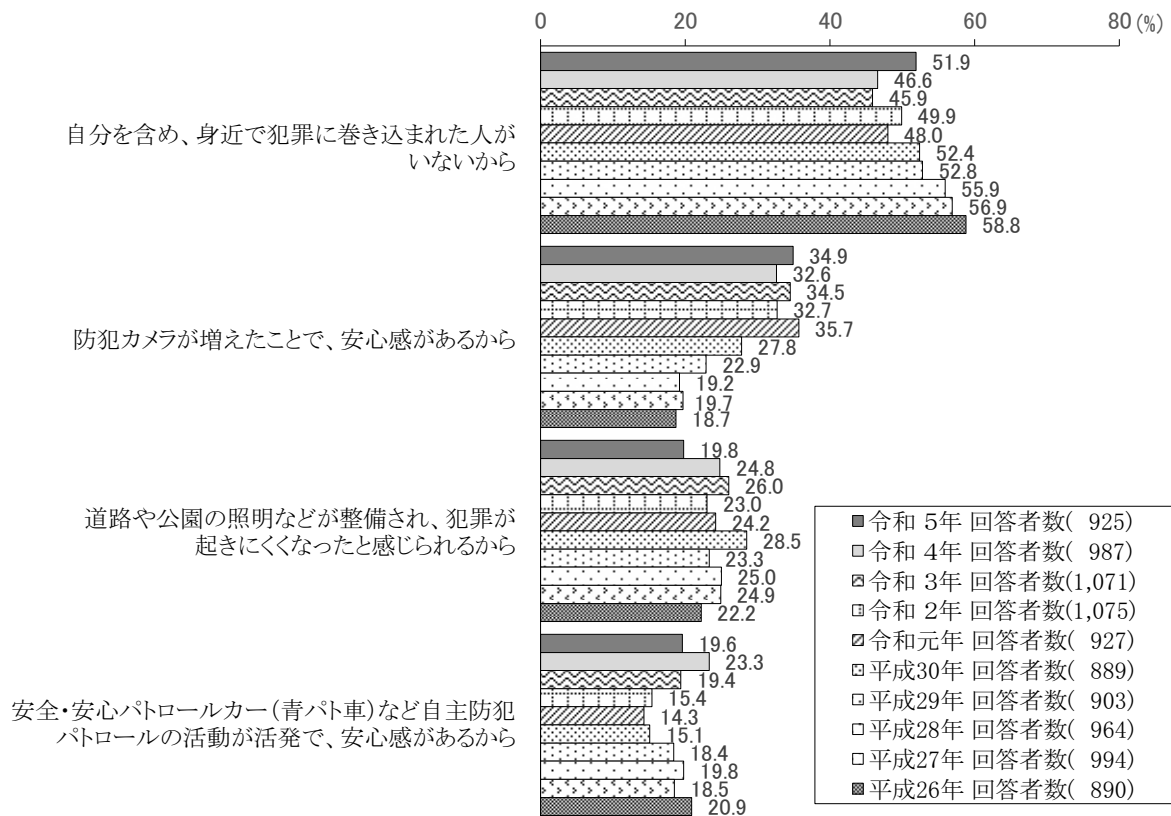
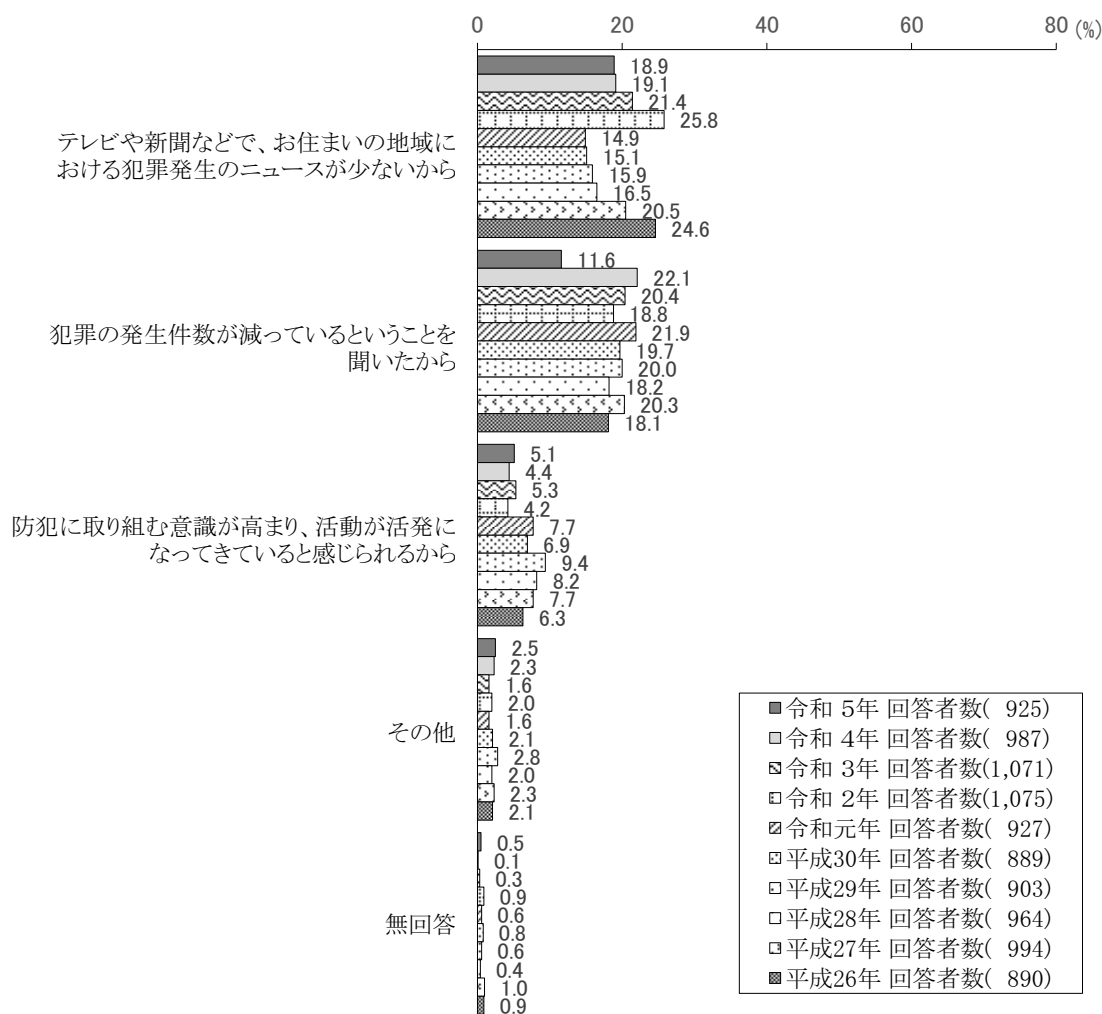


図7-4-1-② 経年比較／居住地域の治安が良いと感じる点

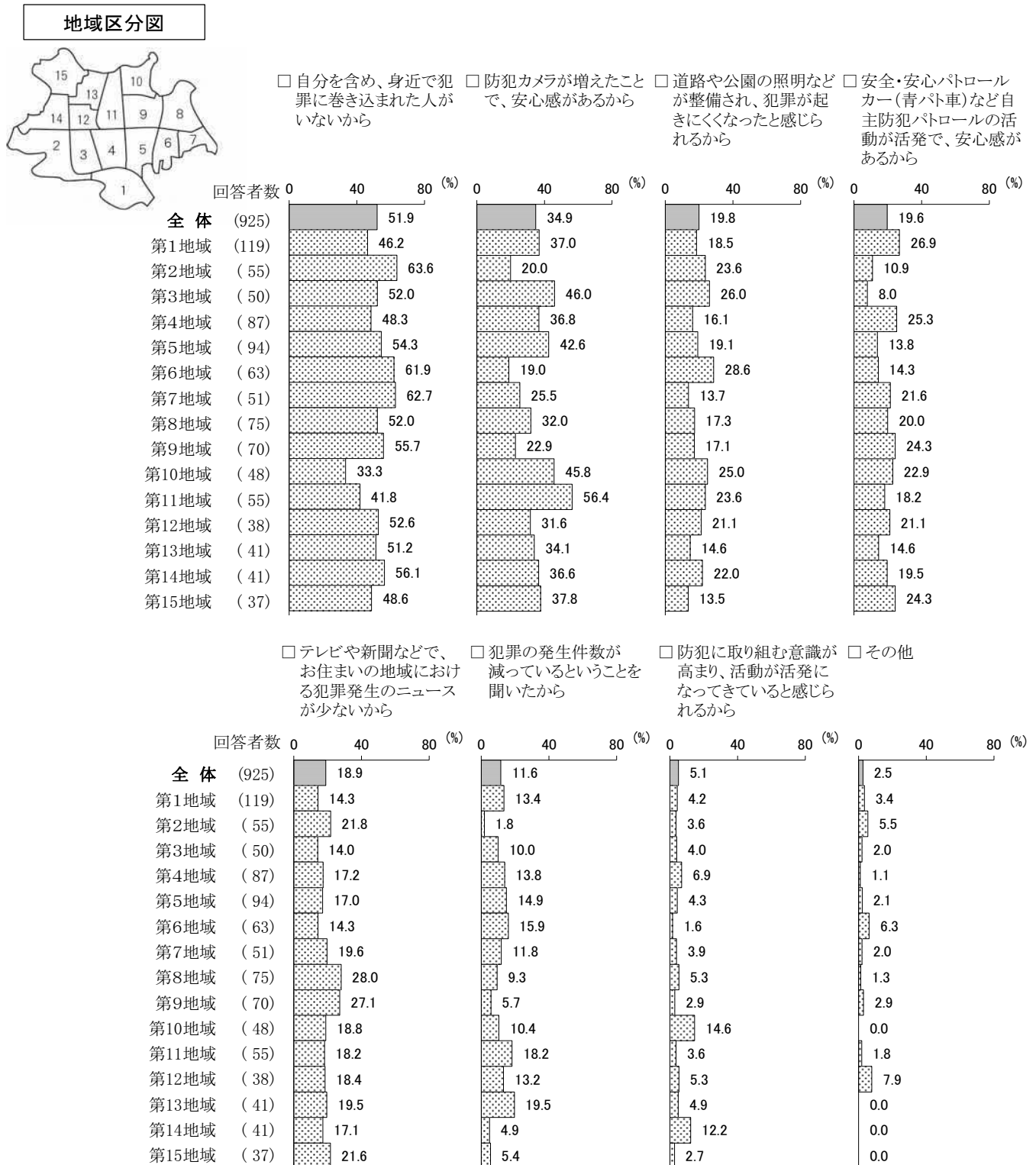


- ※ 「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。
- ※ 「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は、令和元年度までは「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」。
- ※ 「防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから」は、令和元年度までは「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

イ クロス集計・地域別／居住地域の治安が良いと感じる点

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第2地域で63.6%と最も高く、第7地域と第6地域が6割強で続いている。「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第11地域が56.4%と最も高く、第3地域と第10地域が4割台半ばで続いている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は第6地域（28.6%）、「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は第1地域（26.9%）でそれぞれ最も高くなっている。

図7-4-2 地域別／居住地域の治安が良いと感じる点



（5）居住地の治安が悪いと感じる点

問30で「3 どちらかといえば悪い」または「4 悪い」とお答えの方に  
問30-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（〇は2つまで）。

■「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」が4割台半ばで1位、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」が約4割で2位

ア 単純集計・経年比較／居住地の治安が悪いと感じる点

（ア）居住地の治安が【悪い】と評価した人の理由の上位は以下のとおりとなっている。

- ①「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」（43.2%）※新設
- ②「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」（39.6%）※新設
- ③「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」（22.5%）

（イ）前回調査と比較すると、今回調査から新設された「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」と「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」が上位2位となったことから、前回調査で1位であった「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は21.1ポイント減少し3位となったのをはじめ、多くの項目で割合が減少している。

図7-5-1-① 経年比較／居住地の治安が悪いと感じる点

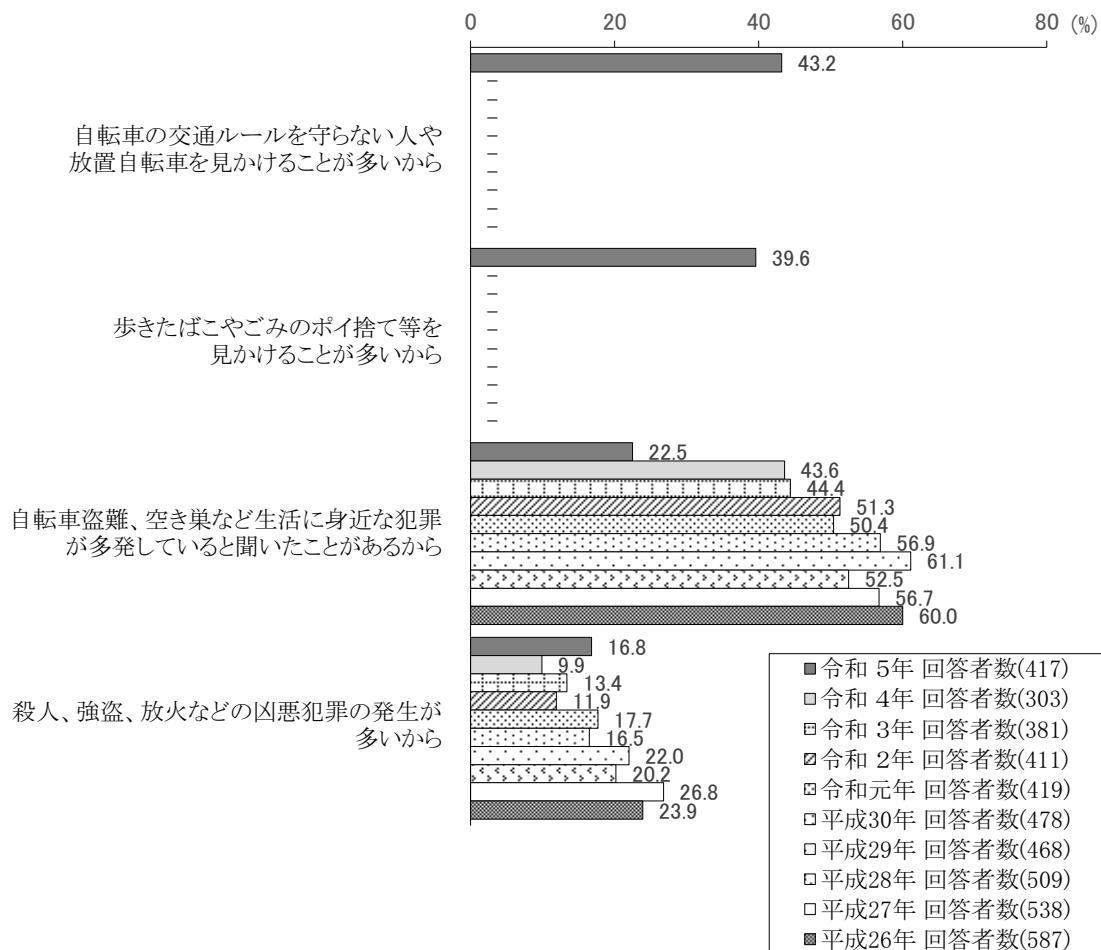
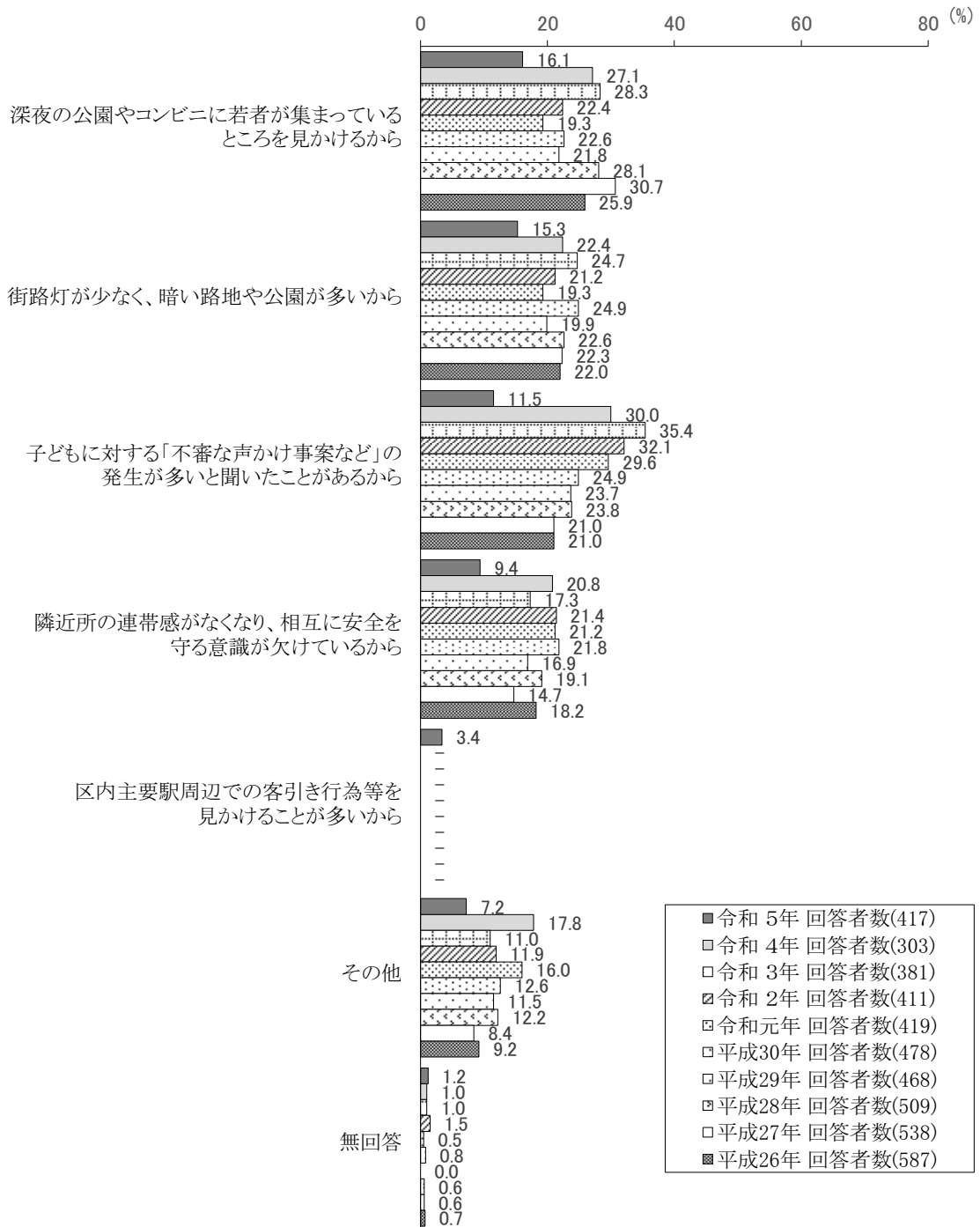


図7-5-1-② 経年比較／居住地域の治安が悪いと感じる点

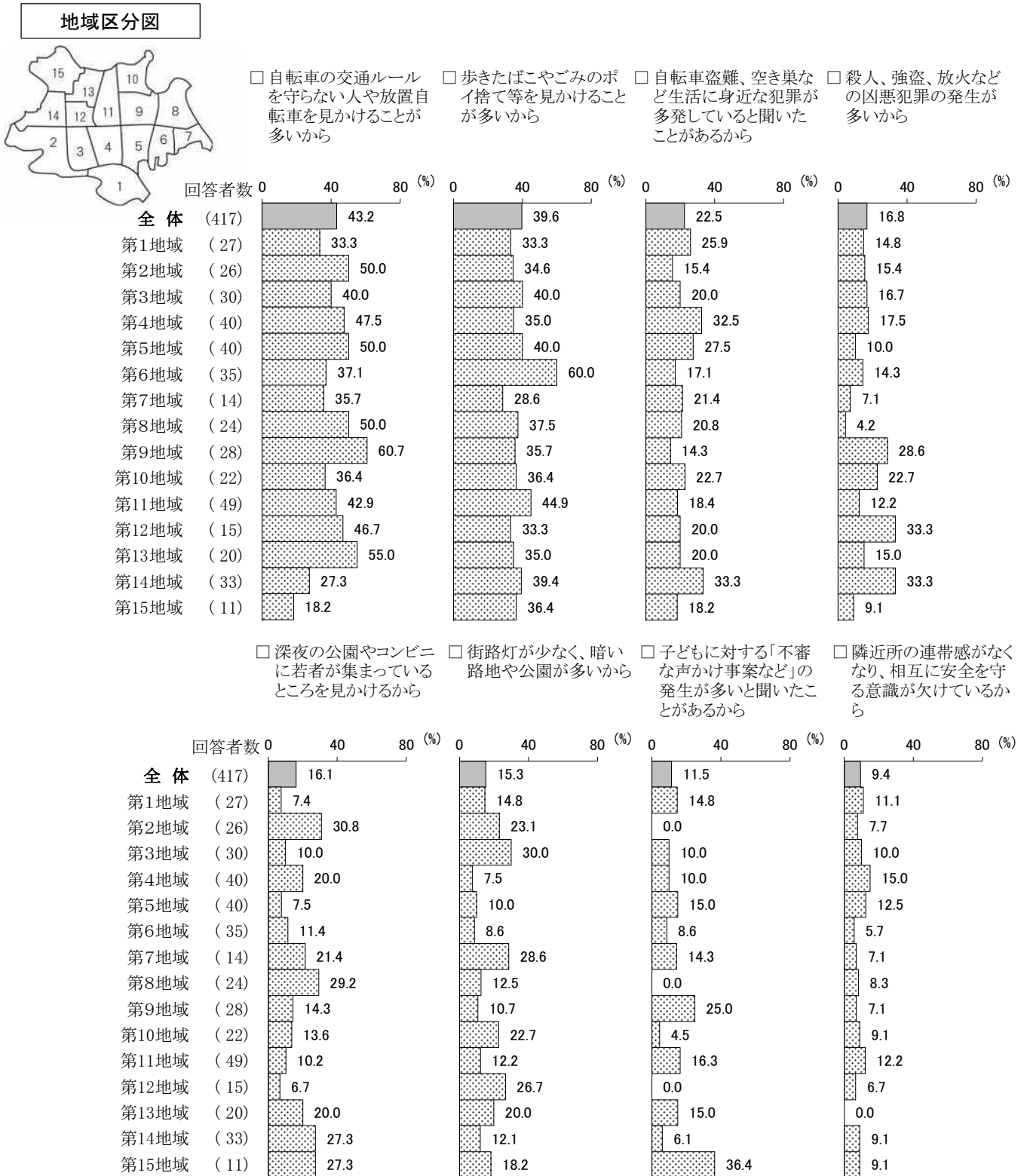


※「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」、「区内主要駅周辺での客引き行為等を見かけることが多いから」は、令和5年度調査からの新設項目。

イ クロス集計・地域別／居住地域の治安が悪いと感じる点

地域別でみると、大半の地域で回答者数が少ないことから、参考値としてみる必要があるが、「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」は第9地域と第13地域で高くなっている。「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」は第6地域で特に高く、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は第14地域と第4地域で他の地域に比べて高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安が悪いと感じる点／上位8項目



ウ クロス集計・性別、性・年代別／居住地域の治安が悪いと感じる点

(ア) 居住地域の治安が悪いと感じる上位8項目について性別でみると、男女の差が5ポイント以上のものは4項目であった。

a 性別でみると男性の方が女性よりも高い項目

(a) 「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」(+9.5ポイント)

(b) 「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」(+6.9ポイント)

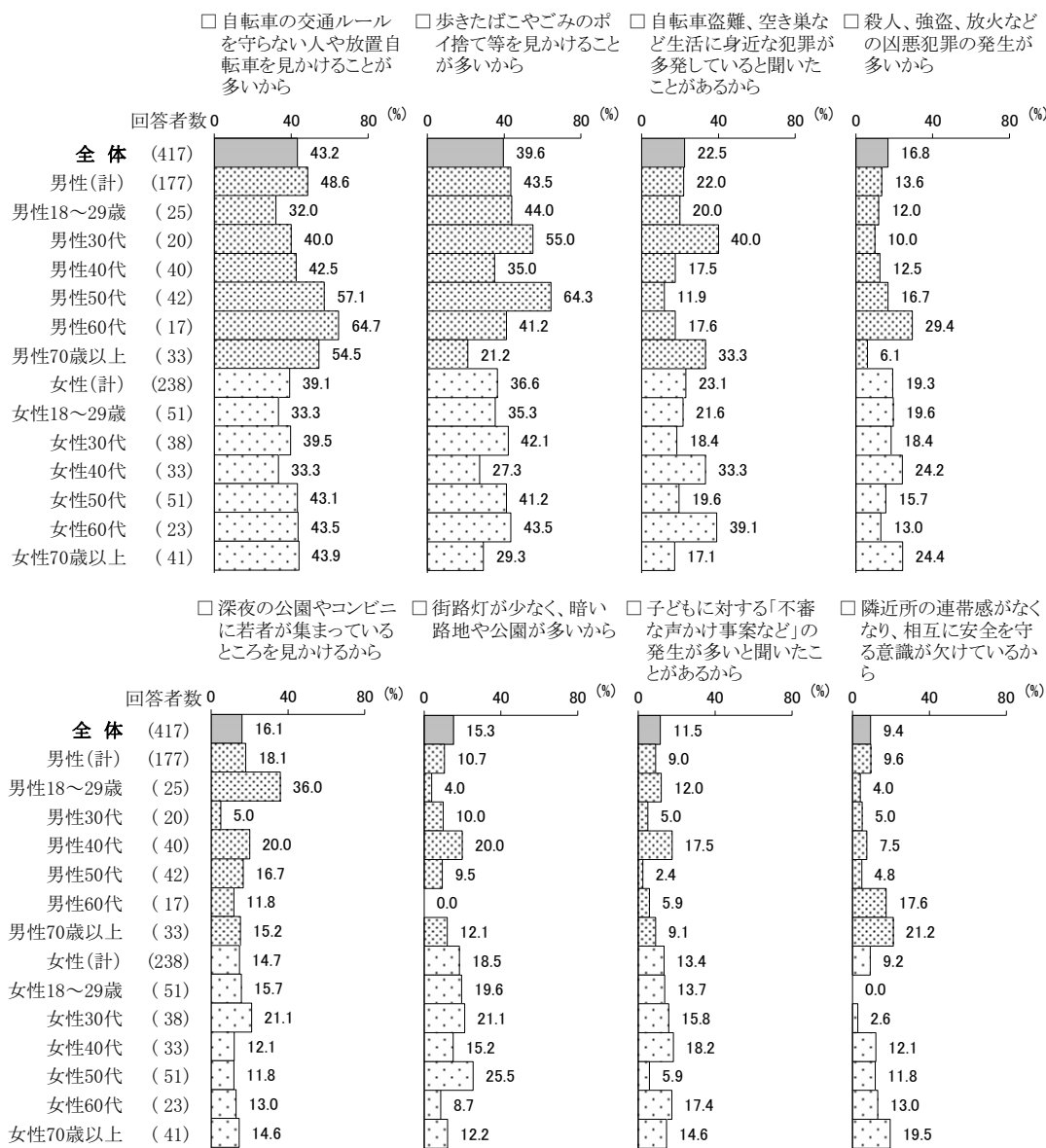
b 性別でみると女性の方が男性よりも高い項目

(a) 「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」(+7.8ポイント)

(b) 「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」(+5.7ポイント)

(イ) 性・年代別でみると、多くの性・年代層で回答者数が少ないことから参考値としてみる必要があるが、「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」は男性の50代、60代、70歳以上で5割以上と高くなっている。「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」は男性の30代と50代で5割以上と高くなっている。

図7-5-3 性別、性・年代別／居住地域の治安が悪いと感じる点／上位8項目



(6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

問31 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか (〇は2つまで)。

■「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が5割、「街路灯など安全に配慮した道路・公園の整備」が4割台半ば

ア 単純集計・経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

(ア) 治安対策として足立区に力を入れてほしいことの上位は、以下のとおりとなっている。

- ①「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」(50.8%)
- ②「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」(45.6%)
- ③「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」(30.7%)

(イ) 前回調査と比較すると、「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」が6.4ポイント増加し、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」も5.4ポイント増加している。逆に、「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」が7.7ポイント減少している。

図7-6-1-① 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

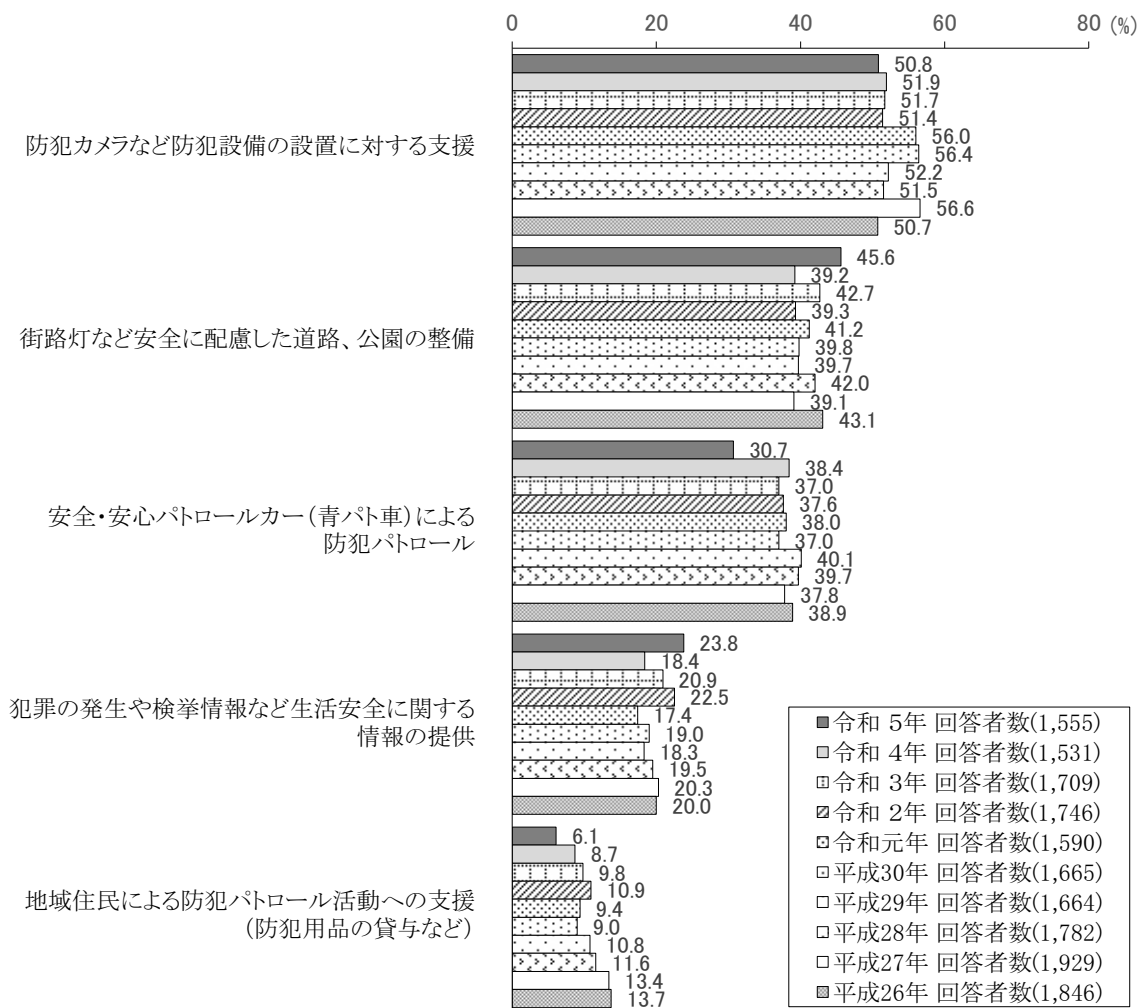
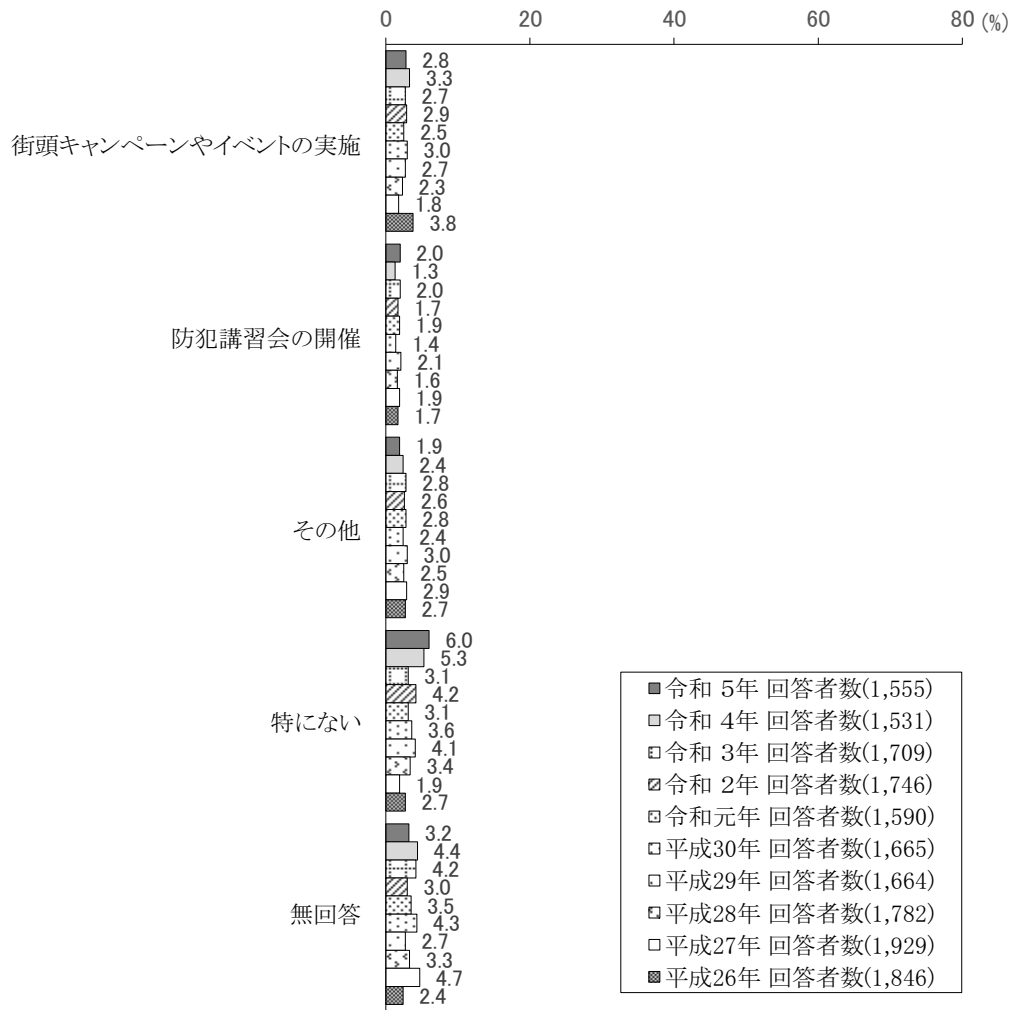




図7-6-1-② 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと



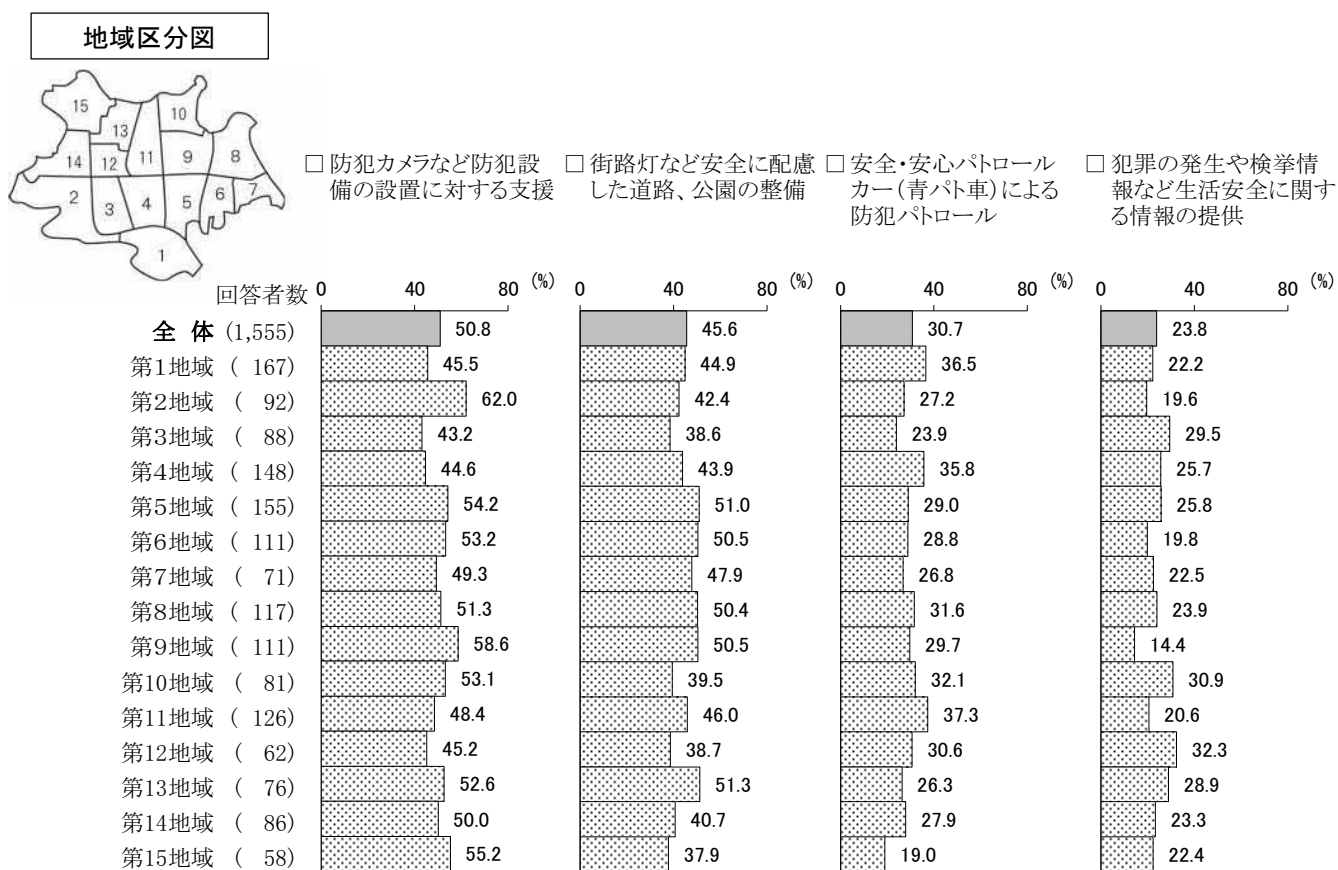
※「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

※「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」は、令和4年度までは「安全に配慮した道路、公園の整備」

イ クロス集計・地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと（上位4項目）

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第2地域で62.0%と最も高く、次いで、第9地域（58.6%）となっている。「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」は第5地域、第6地域、第8地域、第9地域、第13地域で5割から5割強と高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は第11地域（37.3%）、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」は第12地域（32.3%）でそれぞれ最も高くなっている。

図7-6-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



ウ クロス集計・性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと（上位4項目）

(ア) 治安対策として区に力を入れてほしいこと上位4項目について性別でみると、4項目中3項目で女性の方が男性よりも高くなっている。

a 性別でみると女性の方が男性よりも高い項目

(a) 「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」(+10.3ポイント)

(b) 「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」(+4.1ポイント)

(c) 「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」(+2.6ポイント)

b 性別でみると男性の方が女性よりも高い項目

(a) 「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」(+5.5ポイント)

(イ) 性・年代別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は男性の50代と60代で約6割と高く、「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」は女性の40代と50代で5割台半ばと高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は女性の18～29歳と30代で4割近くと他の性・年齢層に比べて高くなっている。

図7-6-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目

